

日本有機農業学会 第2回 テーマ研究会のご案内

1. 日 時

10月11日(土) 10時～16時

2. 場 所

[東京大学農学部 第1号館](#) 2階 第8講義室

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1

(営団地下鉄南北線 東大前下車、農学部正門を入れてすぐ左手の建物)

[案内図](#)

3. テーマ 「生物多様性と農業を考えるフォーラム」

農業は「生物多様性」をどう料理し、農業技術の中に「自然」をどう位置づけていけばいいのでしょうか。3人の報告をもとに、従来の農学が掌中にできなかった自然を、「生物多様性」という概念によって、たぐり寄せます。

4. 発題者

(1) 守山 弘さん(10:10～11:10:元農業環境技術研究所)
農学者として、農村の自然環境全体の「構造」にはじめて着目したまなざしは、農業技術のあり方に衝撃をもたらしました。やっと農学も非生産部門に光を当て始めた黎明期から、今日までの軌跡をたどります。

(2) 鷺谷いづみさん(11:20～12:20:東京大学教授)
生物多様性を武器に、新しい学「保全生態学」の地平を切り開いてきた気鋭の学者のまなざしに注目します。従来の生態学と、農学に欠けていた視点と思想がどうして生み出されたかを知っておかなくては、「自然環境」ブームの表層で踊るのがオチでしょう。

(3) 宇根 豊(13:20～14:20:農と自然の研究所代表理事)
稲作技術や稲作文化の中で、生物多様性はどのように重視され、無視され、位置づけられてきたかを、新しい百姓学の手法の試みで語ります。はたして生物多様性という概念は、農を救う思想に発展できるのでしょうか。

(4) 研究討議「新しい有機農業学の形成・生物多様性を手中に」(14:30～16:50)

5. 司 会 宇根豊氏(農と自然の研究所代表)

6. 今回のテーマ研究会は、東京大学21世紀COE生物多様性・生態系再生研究拠点、農と自然の研究所との共催です。

7. 参加費 500円(但し、非会員のみ)

8. 申 込 事務局まで郵送、ファクスもしくはメールでお申込下さい

日本有機農業学会事務局

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1 神戸大学農学部食料環境経済学気付

FAX 078-803-5837

e-mail:yuki_gakkai@mac.com

[元へ戻る](#)